

令和 5 年（2023 年）3 月 31 日  
札幌市障がい保健福祉部障がい福祉課

## 札幌市「共同生活援助事業所における入居者の結婚等に係る実態調査」 調査結果の概要

共同生活援助事業所（グループホーム）入居者が結婚や出産などを希望した場合や、相談があった場合のグループホームにおける対応等について、実態を把握するための調査を行いました。

- 夫婦又は交際中の 2 人が同一の住居に住むことができると回答したグループホームは、条件付きで認めている場合を含めて 33% でした。
- 同一の住居に住むことを認めていない主な理由は、居室が単身者向けとなっていることや、性別で生活空間を分けていることなどがあげられていました。
- 入居者から交際、結婚、出産などの相談を受けたことがある事業所は 32% でした。
- 入居者の交際、結婚については、入居者の意思を尊重するという考えが多い一方で、出産や育児については、現行の制度では支援が難しいという意見が多くありました。

### 1 調査期間

令和 5 年 2 月 7 日（火曜日）から 3 月 7 日（火曜日）まで

### 2 調査対象

共同生活援助事業所（グループホーム）の管理者

### 3 回答方法

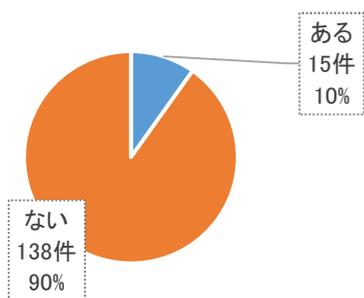
インターネットによるオンライン回答（330 事業所へ調査票を送信）

### 4 回答事業所数

153 事業所（回答率 46.4%）

### 5 調査結果の概要

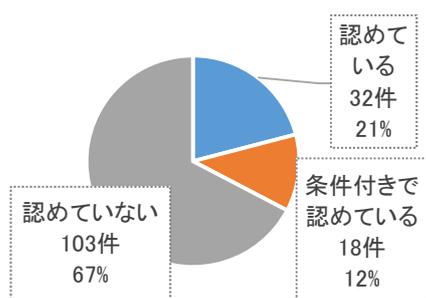
#### (1) 夫婦又は交際中の 2 人が入居できる居室はあるか



○夫婦又は交際中の 2 人で入居できる施設は 15 件、10%

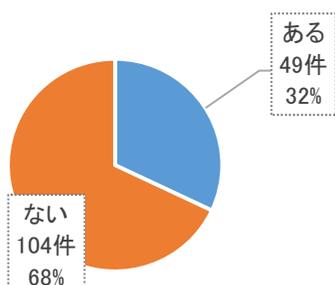
- ・調査日現在で、夫婦又は交際中の 2 人が入居している施設は 10 件、7%
- ・過去に、夫婦又は交際中の 2 人が入居していたことがある施設は 14 件あり、同室が 5 件、別室が 9 件

(2) 入居者が交際や結婚した場合に、同一の住居に住むことを認めるか



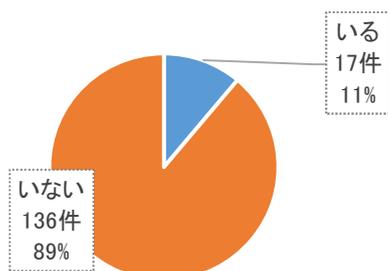
- 同一の住居に住むことができると回答した施設は、条件付きの場合を含めて33%
- ・認めていない主な理由は、居室が単身向けとなっていることや、性別で生活空間を分けていることなど
- ・認めていない場合の入居者への対応としては、一般住宅や他のグループホーム等への転居に向けて支援をする、家族や関係者へ相談するなど

(3) 入居者からの交際や結婚、出産や育児の希望等の相談はあるか



- 入居者から交際、結婚、出産などの相談を受けたことがある事業所は32%
- ・相談の内容は、交際や結婚したい相手がいる、一緒に暮らしたい、出産や育児ができるかどうかなど

(4) 入居者の交際や結婚、出産や育児を理由に退去した入居者はいるか



- 退去者がいた施設は11%
- ・退去に当たっては、家族や関係機関等と連携し、退去後の福祉サービスの調整や転居等の支援をしたというものが多い

(5) 入居者の交際や結婚、出産や育児について（自由記載）

- 交際や結婚については、入居者の意思を尊重する、入居者の状況に応じて助言する、共同生活のルールを守れるならば可能という意見が多くありました。
- 一方、入居者の出産や育児については、現在のグループホームの制度や事業所の支援体制では、支援をすることが難しいとの意見が多くありました。

(6) 入居者の交際や結婚、出産や育児について、どのような支援や制度が必要か（自由記載）

- 共通した意見として、交際や結婚、出産や育児について、本人が情報を得たり理解を深めたりできる場や、こういったことに関する相談に対応できるようなしくみが必要であるという意見が多くありました。
- また、支援や見守りのための人材の配置が必要という意見がありました。
- 交際については、支援や制度は特に必要ないという意見も多くありました。
- 結婚については、夫婦などで入居できる居室のあるグループホームや、見守りや将来設計のサポートなどができる制度が必要という意見が多くありました。
- 出産や育児については、家族単位で利用できるサービスや施設など、出産や育児に対応した支援ができる制度が必要という意見が多数ありました。